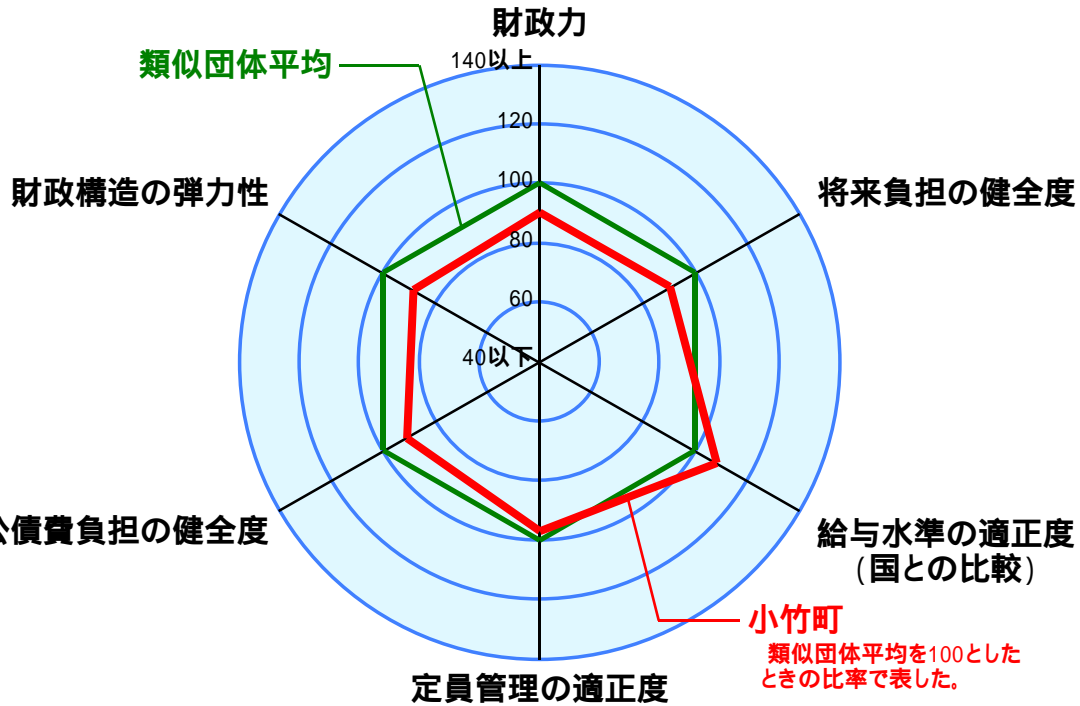
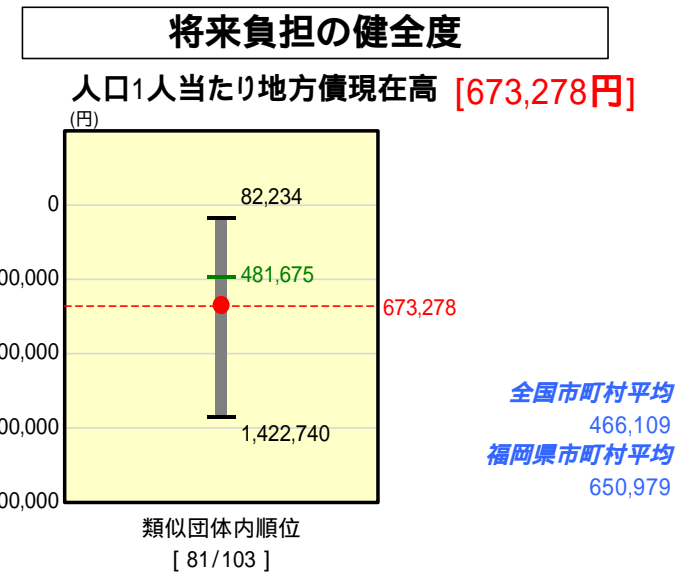
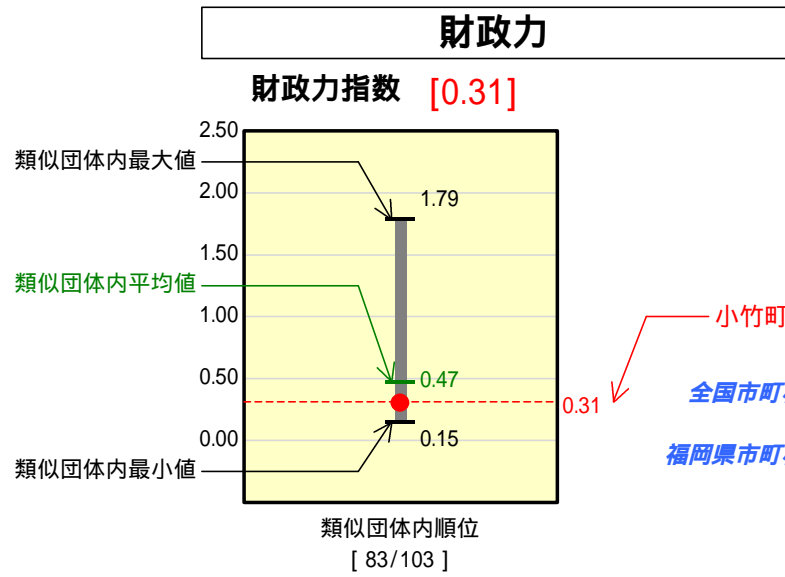


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福岡県 小竹町

人口	9,595 人(H17.3.31現在)
面積	14.18 km ²
歳入総額	5,314,568 千円
歳出総額	5,161,363 千円
実質収支	134,639 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数

人口の減少に加え、町内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く類似団体平均を大きく下回っている。第4次行政改革大綱(集中改革プラン)に沿って、歳出の削減を行うとともに、小竹工業団地の企業誘致を促進し、財政基盤の構築を図る。

経常収支比率

人件費33.3%補助費等17.0%公債費24.5%となっており、類似団体平均を上回っている。人件費は職員数の削減で、公債費は借入額の厳しい制限で改善を見込んでいる。補助費等については、し尿、塵芥、消防、火葬等一部事務組合の負担金縮減には難色があり、単独補助費等の削減を目指している。

起債制限比率、人口1人当たり地方債現在高

旧産炭地(重鉱害地)からの脱却のため、鉱害復旧事業、地域改善対策事業、産業基盤整備事業等を積極的に行ってきたため、起債現在額は類似団体平均を大きく上回っているが、平成17年度から起債額の上限を4億円とし、毎年1億8千万円程度の借入額の減少に努める。

人口1,000人当たり職員数

旧産炭地特有の鉱害復旧事業のため、職員配置を強いられてきたが、平成17年度に終了したこと、及び定員適正化計画に沿って平成18年度は職員数9人の削減をし以降年次的に削減を行う。

